

福井県建設DX推進行動計画（仮称）策定支援業務委託

仕様書

1 業務名

福井県建設DX推進行動計画（仮称）策定支援業務委託

2 業務目的

今後ますます人口減少、少子高齢化が進む中、建設分野においては2040年に約2割の労働人数が不足すると予想されており、将来的な担い手確保が喫緊の課題となっている。また、頻発化・激甚化する自然災害の対応や増加するインフラ施設の老朽化対策など、様々な課題に対し、限られた人員・予算で適切に対応していくことが今後より一層必要となっている。

このため、本業務において、官民連携による効果的かつ実効性の高いDX推進行動計画を策定し、計画的にDX施策を進めていくことで、本県における建設分野の生産性向上やインフラメンテナンスの高度化・効率化等を図ることを目的とする。

3 業務内容

（1）現状把握

- ・県内企業の実態を把握するため、建設業におけるICT活用工事の実績や、建設機械、機器およびシステム等の配備状況、事務作業の実態に加え、測量設計業におけるUAVや3次元モデルなどのICT活用実績および配備状況、事務作業の実態などに関する調査を行うものとする。
- ・実態調査はアンケート等による書面を基本に、福井県建設業協会および福井県測量設計業協会を通じて行うものと想定しているが、必要に応じ対面またはWEBでのヒアリングも可能なものとする。
- ・実態調査の実施にあたっては、業務目的に沿った回答が十分に得られるような調査項目の設定および調査方法の工夫を行うとともに、調査対象の建設業者およびコンサルタント会社等に過度な負担とならないよう配慮を行うこと。
- ・県土木部職員の業務実態については、別途業務（※1）にて調査および施策メニューの抽出を行っているため、本計画策定に向け、別途業務受託者と必要な調整、とりまとめ等を行うこと。

（※1）業務名：福井県土木部業務プロセス最適化（BPR）支援業務委託

受託者：有限監査法人 トーマツ

履行期間：令和7年8月31日まで

- ・上記2つの調査結果に基づき、県内建設分野の課題整理を行い、定量的かつ本県の地域特性を考慮した分析を行うこと。

（2）インフラDX戦略メニュー検討

- ・分析結果を基に、効果的かつ実効性の高いDX施策メニュー（※2）を抽出し、その効果を推定するものとする。

- (※2) ICT活用工事の拡大、内業のDX化、将来のBIM/CIM推進に向けた3次元データ活用システム等の先行導入、県による補助メニューの拡充等
- ・DX施策メニューごとに費用を算出し、費用対効果の順位付けおよび長期的な費用算出を行うものとする。

(3) 福井県建設DX推進行動計画（仮称）の作成

- ・抽出したDX施策メニューについては、本県が求める建設分野の将来像に対し、短期的かつ中長期的な目標を各々設定し、ロードマップを作成することで、計画的なDX施策の推進を図るものとする。
- ・また、本県が事務局となって運営する「福井県建設DX推進連絡協議会」およびWGで意見聴取等を行い、採用するものとする。
- ・上記の結果を基に、令和7年11月下旬（12月県議会開会）までに「福井県建設DX推進行動計画（仮称）」の骨子案、令和8年2月中旬（2月県議会開会）までに「福井県建設DX推進行動計画（仮称）」案の作成を行うものとする。

(4) 業務実績報告書の作成

- ・(1)～(4)の実施内容を踏まえ、業務実績報告書を作成すること。

4 成果物等の提出について

- (1) 提出先 福井県土木部土木管理課
- (2) 提出物 業務実績報告書（電子データ）
ファイル形式はwordおよびexcel とすること
- (3) 提出期限 令和8年2月27日

5 その他の留意点

- (1) 委託業務の実施にあたっては、発注者と十分に協議するとともに、責任者を明確にした上で、発注者からの照会に対し速やかに回答できる体制で臨むこと。
- (2) 委託業務によって知り得た情報を他に漏らしたり、調査書類およびデータを紛失したりすることがないように、秘密の保持については万全を期すこと。
- (3) 本業務履行に当たり、仕様書等に疑義が生じた場合は、受発注者協議の上、業務を遂行すること。